

## 令和7年度 各教科年間指導評価計画

教科名 社会 学年 1年 領域名 地理・歴史

月	単元名	時間	主な評価基準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	【地理】世界と日本の地域構成 ・世界の姿 ・日本の姿	8 4 4	世界の六つの州と主な国の位置と名称や、緯度と経度のしくみを理解したり、地図帳の索引や統計資料を活用したりしている。 世界のなかでの日本の位置や、日本の領域と領土をめぐる問題、日本の都道府県について理解し、世界のなかでの日本の位置を示したり、日本と各地との時差を計算し時刻を求めたりすることができる。	国名や国旗、国境線の特色から、その国の歴史や文化が分かることや、さまざまな種類の世界地図の特色を考察している。 世界のなかでの日本の位置や広がりや、日本と世界各国の時差、日本の領土・領域について、多面的・多角的に考察している。	地図や地球儀に親しみ、世界の地域構成や位置の表現方法について主体的に追究している。 世界のなかでの日本の位置や広がりについて関心をもち、地球儀や地図を活用して、それらの事象を主体的に追究、解決しようとしている。
4 ～ 5	【地理】世界のさまざまな地域 ・人々の生活と環境	7 7	世界各地の人々の多様な生活と環境について、気候や地形などの自然条件と衣食住や宗教などの社会的条件を関連づけて理解している。	世界各地の人々の多様な生活と環境について、自然条件や社会的条件と関連づけ、写真や地図、主題図などを活用して多面的・多角的に考察している。	世界各地の人々の多様な生活と環境に対して関心をもち、主体的に追究しようとしている。
5 ～ 6	【歴史】歴史のとらえ方・調べ方 ・私たちと歴史 ・身近な地域の歴史	6 3 3	資料から歴史に関わる情報を読み取ったり、年表などにまとめたりする技能を身につけている。年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解する。 具体的な事柄との関わりの中で、地域の歴史について調べたり、収集した情報を年表などにまとめたりするなどの技能を身につけている。	時期や年代、推移、現在の私たちとのつながりなどに着目して、小学校での学習を踏まえて歴史上の人物や文化財、出来事などから適切なものを取り上げ、時代区分との関わりなどについて考察し表現している。	私たちと歴史について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
6 ～ 7	【歴史】原始・古代の日本と世界 ・人類の出現と文明のおこり ・日本の成り立ちと倭の王権 ・大帝国の出現と律令国家の形成 ・貴族社会の発展 ・学習のまとめ	18 6 3 3 4 2	世界の古代文明や宗教のおこりをもとに、世界の各地で文明が築かれたことを理解している。 日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和朝廷(大和政権)による統一の様子と東アジアと	古代文明や宗教が起こった場所や環境、農耕の広まりや生産技術の発展、東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して、事象を相互に関連づけるなどして、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現してい	天皇や貴族の政治が展開され、古代国家が発展し、国際色豊かな文化から日本独自の文化が生み出されたことについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

			<p>の関わりなどをもとに、東アジアの文明の影響を受けながら日本で国家が形成されていったことを理解している。</p> <p>律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治などをもとに、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家のしくみが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解している。</p>	<p>る。</p> <p>古代までの日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>古代までの日本について、よりよい社会の実現を視野にそこにみられる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
9 ~ 10	<p>【地理】世界のさまざまな地域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界の諸地域 アジア州</li> <li>世界の諸地域 ヨーロッパ州</li> </ul>	<p>15</p> <p>8</p> <p>7</p>	<p>多様な自然環境や文化、産業がみられるアジア州について、地域ごとにその特色を理解し、地域間の違いからアジア州全体の地域的特色を理解している。</p> <p>空間的相互依存作用や地域などに関わる視点に着目してヨーロッパ州の地域的特色について自然環境、文化、産業の特色を大観し、自然環境や文化にみられるヨーロッパの共通性と多様性を理解している。</p>	<p>アジア州の国々が急激な経済発展をしている理由を、人口増加や他地域との結びつきなどに着目し、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>空間的相互依存作用や地域などに関わる視点に着目して、EU 統合の背景と課題、人々の生活に与える影響などについて、ヨーロッパ州の地域的特色と関連づけて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>急激な人口増加と経済発展が、アジア州に暮らす人々に与える影響や、それによって生じる課題とその解決を、主体的に追究しようとしている。</p> <p>他地域との比較を交えながら、ヨーロッパ州の人々の生活に関心をもち、地域的特色及びEU 統合や文化の多様性に関わる課題を、よりよい社会の実現を視野に入れて主体的に追究しようとしている。</p>
10 ~ 11	<p>【歴史】中世の日本と世界</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>武家政治の始まり</li> <li>ユーラシアの動きと武家政治の変化</li> <li>結びつく民衆と下剋上の社会</li> <li>学習のまとめ</li> </ul>	<p>16</p> <p>6</p> <p>5</p> <p>3</p> <p>2</p>	<p>鎌倉幕府の成立、元寇（モンゴル帝国の襲来）などをもとに、武士が台頭して主従の結びつきや武力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広まったこと、元寇がユーラシアの変化の中で起こったことを理解している。</p> <p>南北朝の争乱と室町幕府、日明貿易、琉球の国際的な役割などをもとに、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接な関わりがみられたことを理解している。</p> <p>農業など諸産業の発達、畿内を中心とした都市や農村における自治的なしくみの成立、武士や民衆などの多様な文化の形成、応仁の乱後の社会的な変動などをもとに、民衆の成長を背景とした社会や</p>	<p>武士の政治への進出と展開、東アジアにおける交流、農業や商工業の発達などに着目して、事象を相互に関連づけるなどして、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>中世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>武士が台頭して鎌倉幕府が成立し、その支配が全国に広まるとともに、武士や民衆の活力を背景に生まれた社会や文化について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究している。</p> <p>中世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。</p>

			文化が生まれたことを理解している。		
12	<p>【地理】世界のさまざまな地域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界の諸地域 アフリカ州</li> <li>世界の諸地域 北アメリカ州</li> </ul>	10 4 6	<p>アフリカ州の人々の生活や産業の特色を理解し、アフリカ諸国とヨーロッパ諸国との文化や経済的な関係を、資料を用いながら歴史的背景を踏まえて理解している。</p> <p>世界をリードし続けているアメリカ合衆国において、民族の多様性や、広大な国土を利用した農業、変化し続ける工業について理解している。</p>	<p>輸出品が特定の農産物や鉱産資源に偏るようになった原因を追究し、その問題を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>北アメリカ州の地域的特色や課題を、そこに暮らす人々の生活の様子をもとに、多面的・多角的に考察している。</p>	<p>ヨーロッパ諸国との関係やモノカルチャー経済に着目しながら、アフリカ州の地域的特色への関心を高め、課題の解決を主体的に追究しようとしている。</p> <p>世界に大きな影響を与える北アメリカ州の産業や文化に着目しながら、それに関わる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
1	<p>【地理】世界のさまざまな地域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界の諸地域 南アメリカ州</li> <li>世界の諸地域 オセアニア州</li> </ul>	9 5 4	<p>多様な文化を受け入れながら独自の文化を形成してきた南アメリカ州の経済成長について理解するとともに、発展の一方で経済格差や環境破壊などの問題が生じていることを、本文や資料から調べ、まとめている。</p> <p>オセアニア州の自然環境の特色と植民地支配されていた歴史を理解し、自然環境と結び付く産業や、多文化社会による移民と先住民との共生などの地域的特色を理解している。</p>	<p>ブラジルで経済成長が続いている要因と熱帯林の減少の背景を関連付けて考察し、その解決策を多面的・多角的に考察している。</p> <p>オセアニア州の国々が、ヨーロッパの国と密接な関係を保ちながら、近年アジアとのつながりを深め、多文化社会を進めている理由や課題を多面的・多角的に考察している。</p>	<p>近年の経済成長に着目しながら、南アメリカ州の地域的特色と農地や鉱山の開発による環境問題について主体的に追究しようとしている。</p> <p>オーストラリアやニュージーランドの多文化社会に着目しながら、オセアニア州の地域的特色や地域の新たな課題を主体的に追究しようとしている。</p>
2	<p>【歴史】近世の日本と世界</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>結びつく世界との出会い</li> <li>天下統一への歩み</li> </ul>	8 5 3	<p>ヨーロッパ人來航の背景とその影響などをもとに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報について調べてまとめ、それが日本の社会に及ぼした影響について理解している。</p> <p>織田信長・豊臣秀吉による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などをもとに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を調べまとめ、近世社会の基礎がつけられたことを理解している。</p>	<p>統一政権の諸政策の目的などに着目して、事象を相互に関連づけるなどして、中世社会から近世社会への変化の様子や、日本の政治や文化に与えた影響などについて多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>世界の動きと関連づけながら、中世から近世への過渡期にある日本について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
3	<p>【地理】日本のさまざまな地域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>身近な地域の調査</li> </ul>	8 8	<p>地図や景観写真、統計資料などを的確に読み取る技能や、地域調査を行う際の</p>	<p>対象地域の地域的特色や課題をとらえるために適切な地理的事象</p>	<p>対象地域の特色や課題を主体的に追究しようとしている。</p>

		視点、方法を理解している。	を取り上げ、それらを多面的・多角的に調査、考察している。	
	主な評価方法	定期考査、小テスト 単元のまとめ、ワークシート	定期考査、小テスト 単元のまとめ、ワークシート レポート	授業への取組、発言 宿題・課題などの提出物 単元のまとめ